

市民団体書き込み「違法性ない」

廃棄物業者の賠償請求棄却

市民団体にブログなどで名誉を毀損されたとして、廃棄物処理業フジコーポレーション（佐久市、山口幸男社長）がこの団体代表に損害賠償を求めた訴訟の判決が5日、長野地裁上田支部であった。永井秀明裁判長は、原告の請求を棄却する判決を言い渡した。

訴状によると、市民団体「放射能を考える佐久地区連絡会」の長岡直仁代表が、小諸市の同社の処分場

について、放射性物質などを含むばいじんをまき散らかしているような発信をし、同社の名誉を毀損したとして、1100万円の損害賠償と、ブログなどの記述の削除を求めた。

判決は、「書き込みは原告の名誉を毀損した」と認定したうえで、「公共の利害に関する事実にかかわり、もっぱら公益を図る目的でなされ、違法性はない」として訴えを退けた。

被告代理人の保田行雄弁護士は「処分場に持ち込まれるごみに住民が不安を感じて意見を表明するのは当然のこと。業者は住民が納得するまで話し合う義務がある」と話した。

フジコーポレーションの山口社長は「コメントしない」と話した。

佐久地区連絡会のブログをめぐっては、廃棄物処理業者のイー・ステージ（小諸市、鈴木宏信社長）が、長岡代表に対する損害賠償請求を棄却した長野地裁上田支部の判決を不服として、1月に東京高裁に控訴している。

判決文は、わたしたち市民の主張や専門的なことまでよく理解いただき、わかりやすく作成されています。HPにもアップしていますが、文書でご希望の方は事務局までご連絡ください。ぜひ、一読を！

2015.3.6 朝日新聞

大井先生の放射能講座でビックリ！ 御代田の森泉山はホットスポット！

2015年3月8日午後、専修大准教授の大井先生による第3回放射能講座「佐久を中心とする地域の残留土壌放射能汚染」が開かれ、約80人が参加した。主催は、3.11佐久ネット。

大井先生は以前より、土壌の放射能汚染を調査研究しているが、今回は、その途中経過ともいえるデータを示してくれた。佐久地区に住む我々には貴重データだ。

軽井沢や埼玉、群馬県境の山の放射線量が高いことは知られていたが、大井先生の調査では、**御代田の森泉山の土壌汚染は1万Bq/kg超。これは千葉県のホットスポットと同レベル！小諸、東御の汚染は以外と少なく、千曲市森、長野市城山公園の汚染が以外と高い。松本は汚染がない。**今後、調査が進めば長野県がどう汚染されているかが明らかになっていく。調査にご協力いただける方を募集しています。

「日本と原発」 わかりやすい！感動した！

～2回の上映会は満員。のべ200名以上来場！～

2015年3月6日と8日に、“弁護士がつくった映画”として全国で話題になっている「日本と原発」の上映会が開かれ、のべ200名以上が来場。主催は、放射能を考える佐久地区連絡会。

原発の危険性、本当の原発コスト、ウソだらけの情報…原子カムラが知られては困る現実をこれでもかといぐり出す。痛快すら感じる元気の出る脱原発映画だった。

編集後記

フジコーポレーション上田地裁判決を受けて

いつも私達に応援をして下さりありがとうございます。フジコーポレーションから提訴された名誉毀損の損害賠償訴訟の判決が、3月5日上田地裁であり全面的勝訴を勝ち取ることができました。この判決においても先のイーステージ判決と同様、私達の広報活動は事実に即しており、正当な意見・評論であるとの裁判所の判断が出たわけです。

詳しい判決内容は判決文を見ていただければわかりますが、ほぼイーステージ判決と同様な論旨であり、問題とされた6箇所の表記中5箇所において原告の名誉を毀損すると認定のうえ、これが公共の利害に関する事実に係り、その事実が真実もしくは真実と信じる相当の理由があるので、違法性が否定され免責されるとの結論になっています。又もう一つの争点である、会が行なった小諸市議会に対する「処分場かさあげに関する請願」が違法であるとの原告主張については、請願は市議会の自由裁量であるから（内容如何に拘わらず）原告の権利を侵害するとは言えない。と明確に否定されました。

原告がこの裁判で意図したものは、自民現政権によるあからさまな言論弾圧的政治姿勢に乗り、自分達にとり目障りな市民運動を狙い撃ちしようとする、スラップ訴訟でした。更に市民の政治的権利である請願行為まで訴える、という市民全体を侮辱するような裁判だったと思います。

このような判決を得ることが出来たのは、みなさまのお力添えと、福島原発告訴団・飯館村ADRでも活躍されている保田行雄弁護士、両裁判の事実認定に重要な役割を果たしていただいた関口鉄夫先生のご尽力に因るものであり感謝いたします。しかしイーステージは既に上告しフジコーポレーションも上告が予想されますので、地域の安全と言論の自由を守るための運動に、より一層のご支援をお願いいたします。F, Y